

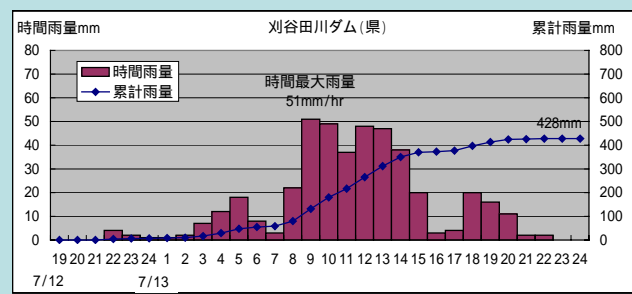
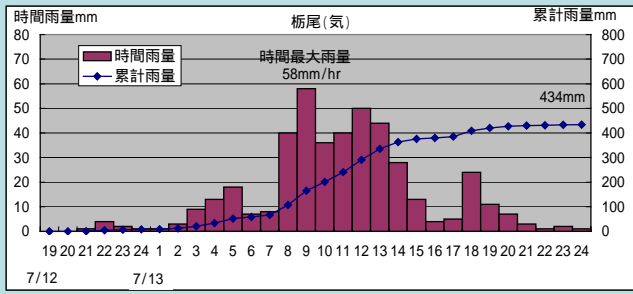
刈谷田川災害復旧計画について



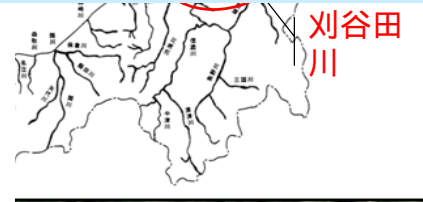
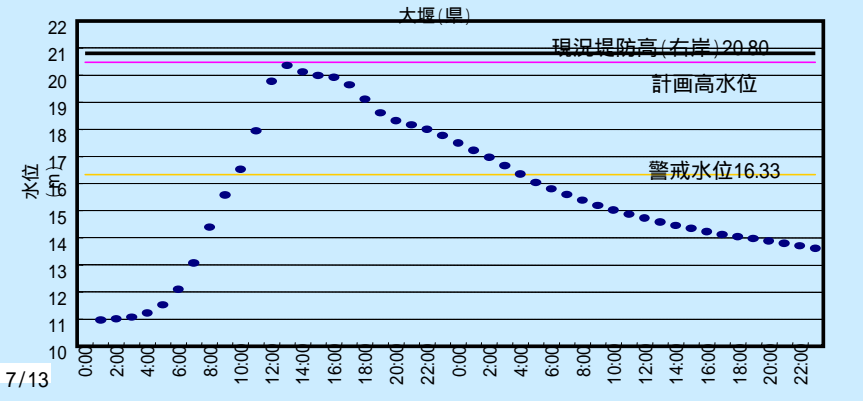
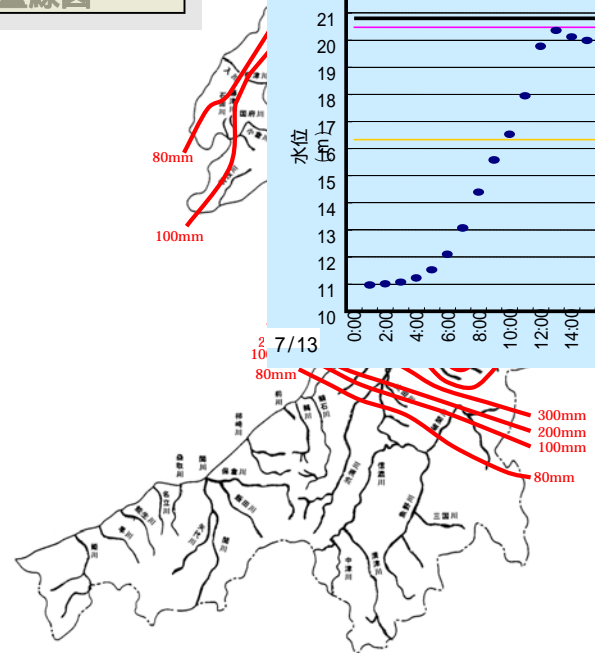
今町大橋付近の完成イメージ

新潟県 土木部河川管理課

刈谷田川 流域図



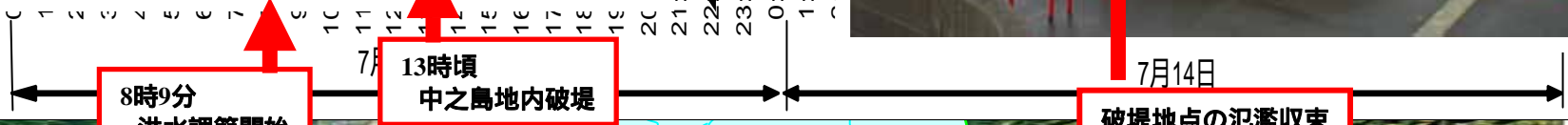
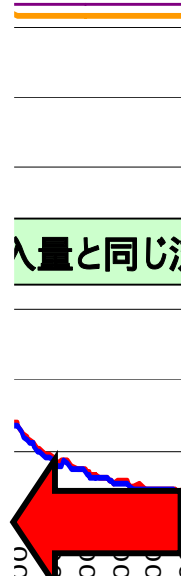
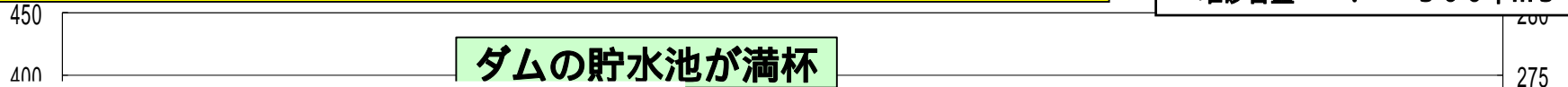
等雨量線図



刈谷田川ダムの洪水調節

信濃川水系刈谷田川においては、刈谷田川ダムで $193\text{m}^3/\text{s}$
 (最大流入量 $275\text{m}^3/\text{s}$ 放流量 $82\text{m}^3/\text{s}$)
 を調節しており約 325万m^3 の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

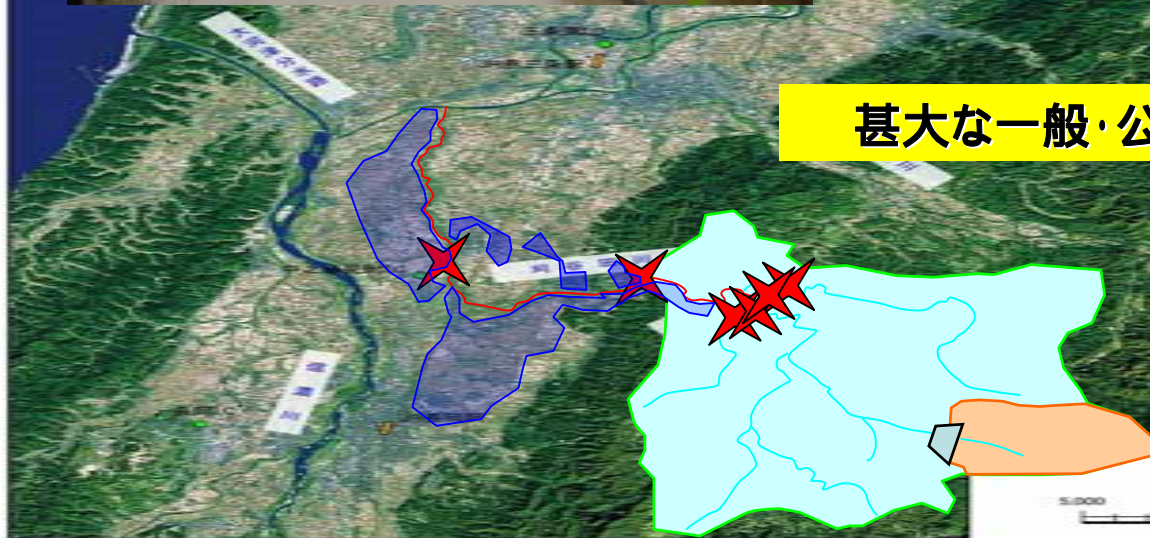
刈谷田川ダム諸元 (F.W.I.P)	
総貯水容量	: 4,450千 m^3
洪水調節容量	: 3,250千 m^3
利水容量	: 900千 m^3
堆砂容量	: 300千 m^3



越水・破堤の発生



被害の状況



甚大な一般・公共土木被害が発生

刈谷田川氾濫による被害		
浸水面積 (ha)	宅地	250
	農地	903
	計	1,153
全半壊家屋 (戸)	全壊	54
	半壊	307
	計	361
浸水家屋 (戸)	床上	986
	床下	1,211
	計	2,197

改良復旧の方針検討

再度の災害防止のためには

流下能力不足の解消が必要

治水代替案として、主に下記の3手法を検討

1. 河道改修案

2. 放水路案

3. 河道改修 + 遊水地案

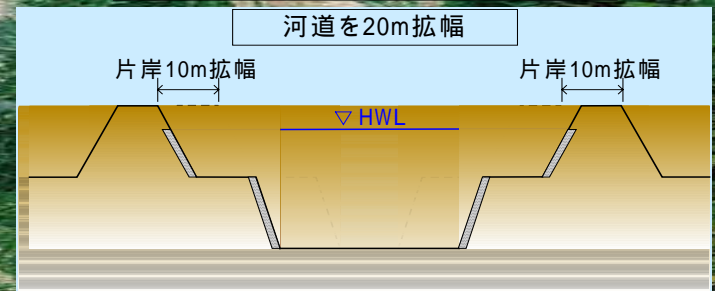


改良復旧の方針案 1 (河道改修案)

再度の災害防止のための方策

長所	治水	水理的に最も安定し、高水敷利用も促進可能
短所	社会性	多くの家屋移転や橋梁架替が必要
	治水	下流域への負荷が大きい
	環境	改修工事の水辺環境に与えるインパクトが大きい
	経済性	多額の工事費・補償費が必要

河道改修案



縮尺 1:200,000

5,000 0 5,000 10,000 (m)

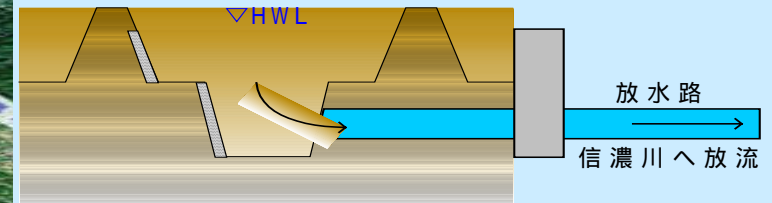
改良復旧の方針案 2 (放水路案)

再度の災害防止のための方策

長所	治水	洪水を最短経路で海に流下できる。
	環境	改修工事の水辺環境に与えるインパクトが比較的小さい
短所	社会性	見附市街地で多くの家屋移転や橋梁架替が必要
	社会性	新規の大規模放水路の用地買収・工事が必要
	治水	大河津分水路も流下能力が不足している。
	経済性	比較案で最も多額の工事費・補償費が必要

放水路案

放水路設置



縮尺 1:200,000

5,000 0 5,000 10,000 (m)

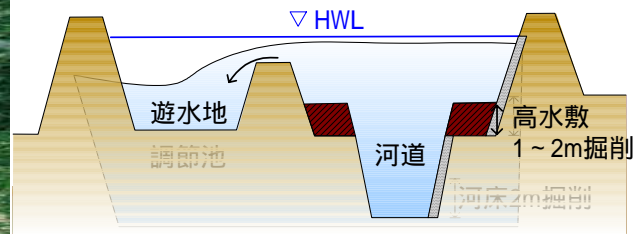
改良復旧の方針案 3 (河道改修 + 遊水地案)

再度の災害防止のための方策

長所	治水	下流への負担を軽減でき、上下流バランスが良い
	社会性	家屋移転や用地買収が比較的少ない
	環境	改修工事の水辺環境に与えるインパクトが比較的小さい
	経済性	比較案で最も経済的で、短期施行が可能
短所	社会性	遊水地内は継続営農可能だが、地元合意が必要不可欠

河道改修 + 遊水地案

高水敷を1~2m掘削+調節池設置



本案を採用

洪水に備えて

1 雨量・河川の水位等をインターネットで提供

インターネット(パソコン・携帯端末)での公表



わかりやすい画面表示
(堤防までの高さ)



新潟県では6月15日より、こちらのアドレスでパソコンや携帯電話により雨量、水位、ダム放流情報等の防災情報を提供します。

これにより、洪水時はもちろんのこと、いつでも雨量、水位等を見ることができます。

※アドレスは、新潟県のホームページからでもアクセスできます。

6月15日より公表



QRコードから情報を
アクセスして 보세요！

パソコン用 <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>

携帯電話用 http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen_m/

※利用可能により、表示できない画面があります。

2 避難の目安となる「特別警戒水位」を設定

特別警戒水位に到達したときは、報道機関を通じて、一般住民へ周知

危険水位
過去により頻発の被害を受けた
以上の水位がある水位



新潟県では昨年の水害を踏まえ、平成17年度から市町村が避難勧告を出したり、住民が自主的に避難をする際にも参考となる特別警戒水位を、主な河川で設定し、この水位に達したときにはテレビなどを通じて県民の皆さんにお知らせします。

この特別警戒水位に達した場合には、市町村から出される避難勧告などの避難情報にご注意下さい。



3 洪水ハザードマップで避難場所や避難経路を確認



①避難場所・経路を確認



ハザードマップ

②備えあれば憂いなし



③「いざ！」すばやく避難



県民の皆さんが災害時に、速やかに避難できるように、河川が氾濫したときの浸水する範囲と浸水の深さを示した浸水想定区域図に、避難場所や避難経路、市町村からの伝達方法、関係機関の連絡先など避難時に必要となる情報を示した洪水ハザードマップの整備を各市町村で進めています。